

第2学年 国語科学習指導案

児童 男子5名 計5名
指導者 平 明 枝

本単元における「読むこと」の指導内容

○時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと（イ）

- 1 単元名 だいじなところに 気をつけて読もう
教材名 「サンゴの海の生きものたち」

2 単元について

(1) 児童の実態

子供たちは、これまでに読むことの学習として、「ふきのとう」では、情景を想像しながら読み、音読を工夫することを学習した。「たんぼぼのちえ」では、時間的な順序が分かる言葉をもとに段落分けをし、各時期にどんな様子でそれはなぜなのかを考える学習をしてきた。「スイミー」では、並行読書として同一作者の作品を数多く読み、自分の好きなどを発表する活動を行ってきた。

一人学びについては、「たんぼぼのちえ」で順序を表す重要語句にラインを引くことができた。また、たんぼぼの様子とそのわけを探して、ラインを引き、学習プリントに書き出す作業をしながら、たんぼぼの仲間を増やすための知恵について学習してきた。しかし、語句を探してラインを引く活動はできていても課題解決のための読みになっていない児童がおり、一人学びの活動に入る際の指示や見通しをしっかりと行えるようにしたい。

日常活動では、学校、家庭で音読に取り組んでいる。単元によって音読のめあてをはっきりとさせて取り組んでいる。読書では、どの児童も「誰が、どこで、なにをしたか、自分の好きなどころ」をはっきりと話したり、書いたりすることができた。これらの学習を通して、時間的な順序を表す言葉に注意して読んだり、書いたりすることができるようになってきている。また、お話の大体をとらえながら読むことができるようになってきている。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子に気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」ことである。この目標に迫るために、特にこの単元では、「事柄の順序などを考えながら内容の大体をつかむ」力を育成することが大切である。

本単元では「サンゴの海の生き物たちが、お互いに役立っていることを事柄の順序を考えながら読む」を目標としている。教材「サンゴの海の生きものたち」は、日頃なじみ深いとはいえない海の生き物の共生について述べている説明的文章である。教材文とともに使われている鮮明な写真は、児童にとってやや難解な共生について書かれている情報を十分補っており、場面の様子などに気づくことができる資料である。また、海に生きる不思議な生態に、興味をそそられるため読書に対する意欲を喚起する教材でもある。そして、この教材は、典型的な説明文の形式を持ち、4つの部分で分かりやすく構成されている。第1の意味段落で話題提示・問題提示を読み取らせ、第2、第3の意味段落で問題に対する答えの説明が、それぞれの生き物たちの体の特徴、お互いの役に立っていること、という順序で書かれている。その事柄の順序を捉えながら、かかわり合いを考えさせることで、確かに読み取る力を育成できると考える。

(3) 指導に当たって

本単元では、「読むこと」の（イ）《時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体をつかむ》力を育成するために、次のことに気をつけて指導をしていきたい。

- ①事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむために、話題提示文、2組の魚のかかわり合い、まとめの順序という構成に気づかせ、問いに対する答えを読み取っていく活動を展開する。
- ②2組の海の生き物たちのお互いに役立っていることは何なのかを考え、重要語句に迫り、それぞれの生き物たちのかかわり合いについて読んでいく。
- ③一人学びにおいては、第2、第3段落での問題の説明が既習事項の「それぞれの生き物たちの体の特徴」「お互いに役立っていること」の内容の繰り返しであることや、文末表現などを手がかりとし、かかわり合いの分かる語句や文を見つけサイドラインを引く活動を行う。見つけた語句や文を学習プリントに抜き出すことにより、魚たちがどんなかかわり合いをしているのか考えさせる工夫をする。

3 単元の目標及び指導計画

第2学年 だいじなところに気をつけて読もう

「サンゴの海の生き物たち」（12時間）

《単元の目標》

【国語への関心・意欲・態度】海の生き物たちの暮らしに興味を持ち、生き物についての読み物を楽しんで読もうとする。

【書くこと】○図書の本などを読んで題材に必要な事柄を集めて「生き物カード」を作ることができる。

【読むこと】◎「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。

【言語についての知識・理解・技能】○片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。

《単元の指導計画と評価規準》

段階	時	学習活動 ☆重要語句の取り扱い方	一人学び	
				国語への関心・意欲・態度
つかむ	1	海の中の世界のイメージを広げながら、感想を書く	驚いたこと、不思議に思ったことおもしろいと思ったところなど、感想を書く。	写真から想像を広げ生き物に興味を持って読もうとしている。
	2	第1段落の問題提示文をもとに学習計画を立てる。	出てくる生き物の種類や聞いている文、まとめの文などから	学習のめあてや計画をとらえようとしている。
	3	☆「役立つように」「かわり合い」「イソギンチャクとクマノミ」「ホンソメワケベラと大きな魚」「このように」に着目して段落分けをする。	大きく4つの段落に分ける。	
ふかめる	4	イソギンチャクとクマノミのかわり合いについて読み取る。 ☆「近づかない」「おいはらう」「守り合う」に着目し、かわり合いを読み取る。	イソギンチャクとクマノミのかわり合いが分かるところに線を引いて抜き出す。	それぞれの魚が関わっているところに、サイドラインを引こうとしている。
	5	かわり合いについて動作化をして確かめる。	それぞれの魚になって、関わりが分かるように吹き出しに書く。	それぞれの魚になりきって吹き出しを書き、役割演技をしてかわり合いを確かめようとしている
	6	ホンソメワケベラと大きな魚とのかわり合いについて読み取る。 ☆「そうじ」「とった虫が食べ物」に着目してかわり合いを読み取る。	ホンソメワケベラと大きな魚のかわり合いが分かるところに線を引いて抜き出す。	それぞれの魚が関わっていることが分かるところにサイドラインを引こうとしている。
	7	かわり合いについて動作化をして確かめる。	それぞれの魚になって、かわり合いが分かるように吹き出しに書く。	それぞれの魚になりきって吹き出しを書き役割演技をしてかわり合いを確かめようとしている。
まとめる	8	かわり合いについてまとめ、海の生き物たちへの感想や疑問、さらに知りたいことについて話しあう。	守り合い、助け合っている海の生き物たちへの感想を書く。	単元を振り返った後さらに、知りたいことを話している。
	9	海の生き物カードを書く目的で本を読み、書きたい生き物を決める。	海に生き物たちのカードを作る目的で本を読む。	海の生き物たちの本を進んで読もうとしている。
	10	海の生き物カードを作る。	調べたことを「生き物カード」にまとめる。	海の生き物たちの本を読んでカードを作ろうとしている。
	11	12	できあがった海の生き物カードを交換して読み合う。	友達の子育てカードを読み感想を書く。

《単元の評価規準》

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・海の生き物たちの暮らしに興味を持ち、海の生き物についての読み物に興味を持って、読もうとしている。	○図書などの本を読んで、生き物の特徴を捉えて伝えたい事柄を集めて、「生き物カード」を書いている。	◎「サンゴの海の生き物たち」が互いに役立っていることを説明の順序に気をつけたり、動作化をしたりして、読み取っている。	○片仮名を読んだり、片仮名で書く語を「生き物カード」の中でつかったりしている。

評価規準			評価			
書く能力	読む能力	言語についての知・理・技				
	写真を見て思ったことを発表し、感想を書いている。	漢字や語句について理解している。				
	内容から4つの段落にわけ、問題提示文から学習課題を考えている。	片仮名で書いてある生き物名前を注意して読んだり書いたりしている。				
	イソギンチャクとクマノミが守り合っていることを読み取り、まとめしている。	片仮名で書いてある生き物名前を注意して読んだり書いたりしている。				
	イソギンチャクとクマノミのかわり合いについて読み取ったことを表現している。					
	ホンソメワケベラと大きな魚のかわり合いを読み取っている。	片仮名で書いてある生き物名前を注意して読んだり書いたりしている。				
	ホンソメワケベラと大きな魚のかわり合いについて読み取ったことを表現している。					
	海の生き物たちへの感想や疑問、さらに知りたいことを書いている。					
	ほかの海の生き物たちはどんな暮らしをしているのか感想を持ちながら読んでいる。	片仮名で書いた生き物の名前を注意して読んでいる。				
	本を読んで生き物の特徴をとらえ、伝えたい事柄を集めてまとめている	生き物カードを作るとき、生き物の名前を片仮名で書いている。				
	生き物カードに生き物の特徴が書いているかを考えながら読んでいる。					

4 教材分析表

第二学年

単元名 だいじなところに気をつけて読もう

教材名 「サンゴの海の生きものたち」

筆者 もとかわ たつお

指導内容 ◎時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む。(読イ)

指導目標 関 海の生き物たちのくらしに興味を持ち、生き物についての読み物を楽しんで読もうとする。
書 図書の本などを読んで、題材に必要な事柄を集めて「生きものカード」を作ることができる。
読 「サンゴの生きものたち」がお互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。
言 片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。

文章構成図	IVま と め	Ⅲ 具 体 例 2	Ⅱ 具 体 例 1	I 話題提示	意味段落	要旨	
	① ②	⑩	⑨ ⑧ ⑦	⑥ ⑤ ④ ③	② ①	形式段落	
<p>① ②</p> <p>⑦ ⑧ ⑨</p> <p>⑩</p>	<p>生きものたちは関わり合って生きている</p>	<p>ホンソメワケベラと大きな魚との関わり合い</p> <p>⑩</p> <p>大きな魚は、掃除をしてもらい、ホンソメワケベラは、大きな魚の口についた虫を食べ、物としてもらって、お互いに関わり合ってくらししている。</p> <p>このように サンゴの海の中では、生き物 たちがかかわり合ってくらししている。 サンゴの海では、たくさんの生き物たちが様々に関わり合ってくらししている。</p>	<p>イソギンチャクとクマノミのかかわり合い</p> <p>⑨</p> <p>大きな魚にとつて役に立っていること</p> <p>大きな魚は、きれいに掃除してくれるのを知っている</p> <p>でも、ただ、そうじを しているわけではありません</p> <p>← かかわり合い</p> <p>→</p> <p>ホンソメワケベラは、掃除をしようとした虫が食べ物になる</p> <p>⑧</p> <p>大きな魚の口に小さな魚が入っていく</p> <p>でも 食べられることはありません</p> <p>⑦</p> <p>ホンソメワケベラ 体の色・・・青色の体に黒いすじが一本 体の長さ・・・十二センチメートル</p> <p>イソギンチャクは、クマノミを食べる魚が近づかないように毒の針をもつ触手で、クマノミを守る。 クマノミは、イソギンチャクを食べる魚を音を立てて追いはらい、互いに守り合っている。</p>	<p>イソギンチャクとクマノミのかかわり合い</p> <p>⑥</p> <p>イソギンチャクにとつて役に立っていること</p> <p>クマノミは、カチカチと音を立てて魚を追い払う</p> <p>→ かかわり合い</p> <p>←</p> <p>イソギンチャクは、クマノミを食べる魚が近づかないように毒の針をもつ触手で、クマノミを守る。 クマノミは、イソギンチャクを食べる魚を音を立てて追いはらい、互いに守り合っている。</p> <p>⑤</p> <p>クマノミは、きれいに掃除してくれるのを知っている</p> <p>でも、ただ、そうじを しているわけではありません</p> <p>→</p> <p>クマノミは、掃除をしようとした虫が食べ物になる</p> <p>④</p> <p>クマノミは、きれいに掃除してくれるのを知っている</p> <p>でも、ただ、そうじを しているわけではありません</p> <p>→</p> <p>クマノミは、掃除をしようとした虫が食べ物になる</p> <p>③</p> <p>イソギンチャクは、クマノミを食べる魚が近づかないように毒の針をもつ触手で、クマノミを守る。 クマノミは、イソギンチャクを食べる魚を音を立てて追いはらい、互いに守り合っている。</p>	<p>サンゴの海の生きものたちの関わり合いを見てみよう</p> <p>②</p> <p>サンゴの海 互いに役立つように、かかわり合っている生き物たちがいる どんな生きものが、どんななかかわり合いをしているのでしょうか。 どんな生き物たちが互いに役に立つように、どんななかかわり合いをしているのでしょうか。</p> <p>①</p> <p>イソギンチャク しよく手一中にクマノミがうかんている クマノミ どくのほりークマノミもさされると大変なことになる でも、クマノミはさされることはありません 体がねばねばした液で覆われている クマノミにとつて役に立っていること 大きな魚は、イソギンチャクをこわがって近づかない。 イソギンチャクにとつて役に立っていること イソギンチャクは、クマノミを食べる魚が近づかないように毒の針をもつ触手で、クマノミを守る。 クマノミは、イソギンチャクを食べる魚を音を立てて追いはらい、互いに守り合っている。</p>	<p>手がかりになる 語句</p> <p>・しようか</p>	<p>重要語句</p> <p>・役に立つ ・関わり合う</p>

(4) 板書計画

サンゴの海の生きものたち

かだい

ホンソメワケベラと大きな魚は、どんなかわり合いをしているのでしょうか

⑦ホンソメワケベラの体

ホンソメワケベラ
の絵

明るい青色
くろいすじ
十二センチメートル

⑧大きな魚にとっていいこと

体や口についた虫を
きれいにそうじしてもらおう＝そうじ魚

⑨ホンソメワケベラにとっていいこと

そうじをしてとった虫が食べものになる

大きな魚とホンソメワケ
ベラの写真

まとめ

大きな魚は、そうじをしてもらおう。
ホンソメワケベラは、とった虫が食べものになる。
このようにして、おたがいにかかり合っている。

